

## 令和7年度 第4回西区まちづくり懇話会(要旨)

1 日 時 令和8年(2026年)2月28日(土)午前10時00分～

2 場 所 西区役所3階健康ホール

3 出席者 計30名

・西区まちづくり懇話会委員(8名)

川副会長、久保委員、大嶋委員、上村委員、本田委員、清川委員、吉永委員、田尻委員

・事務局(22名)

西区長、区民部長、保健福祉部長、総務企画課長、総務企画課職員(5名)、区民課長、西区管内まちづくりセンター所長(3名)、芳野分室長、河内交流室長、西区土木センター所長、西区土木センター総務課長、西区土木センター河内分室長、福祉課長、保護課長、保健子ども課長、農業委員会事務局西南分室長

4 内容

協議事項

(1)令和7年度のまちづくり推進事業について

(2)令和8年度の新規事業について

報告事項

(1)西区フェスタ2026について

(2)西区フォトコンテスト審査について

(3)おれんじトーク開催状況について

5 議事要旨

●協議事項(1) 令和7年度のまちづくり推進事業について

<資料1について 事務局から説明>

(上村委員)

花園まちづくりセンターの高校・大学との連携は良い取り組みだと感じた。商店街との連携状況はどうなっているか。

(事務局)

管内の島崎繁栄会、花園商店街、上熊本商店街など3つの商店街すべてに参加いただいている。

(清川委員)

「Silent Night—そばしこの夜」がいいキャッチコピーだと思った。参加した高校生からはどのような意見が出たのか。

(事務局)

提案したスイーツの商品化や実現したらその物販をしたい、また今後もこのようなイベントに参加したいというお話が学校からあった。

(本田委員)

小・中学校との連携状況はいかがか。前年度の2月頃までに学校は年間計画が決まるので、早めの情報提供が必要。

(事務局)

西部まちづくりセンターは西区チャンネルの出前講座を芳野小学校の児童を対象に実施。来年度は河内小学校を予定している。城山小学校のキャベツの苗植え体験の動画を掲載している。花園まちづくりセンターはイベント実施の際は必ずお声掛けしている。

(吉永委員)

まちづくりセンターで様々な活動がされていて嬉しい。河内まちづくりセンターの婚活事業は若い方の出会いが少なくなっている中でいい事業だと思う。

(内村委員)

花園まちづくりセンターのイベントはいいイベントだと思うため、発信をさらに広げると今後より多くの方に来ていただけるのではないかと。

小島小学校が玉ねぎ収穫をされているという話を聞いたことがある。

(事務局)

広報についての話が出たが、西区公式インスタグラムを開設したため、今後周知を強化していく予定である。

(川副会長)

上熊本のイベントで崇城大学の花火大会と同日開催し、1000人の参加があったということで、いいアイデアだったと思う。来年度、花火の日程がずれるので、情報提供しておく。

●協議事項(2) 令和8年度の新規事業について

<資料2について 事務局から説明>

(上村委員)

デジタルスタンプラリーについて、20か所巡った場合、抽選だけではなく必ず何かもらえる仕組みがあると良いと思う。

(事務局)

いただいたご意見を参考に今後詳細を検討していく。

(川副会長)

1つの案としにしまるのデジタルスタンプはいかがか。

(本田委員)

昨年度の事業と今年度事業の比較は。

(事務局)

西区魅力アップチャレンジプログラム事業を廃止した。いのちのふれあい学校事業、西区(サイク)リングのまちづくりは今年度資料には掲載されていないが、事業は継続予定。

(大嶋委員)

にしまるのキャラクターシートはどれくらい貼られているのか。

(事務局)

令和6年度に7か所、今年度は9か所に設置している。来年度も小学校周辺を中心に拡大予定である。

(上村委員)

歯周病ゼロタウン事業の簡易検査はどのように行うのか。

(事務局)

サリバスター検査というものを実施。唾液に試薬をつけると1分程度で結果が出る簡易検査を行う。

(川副会長)

歯周病ゼロタウン事業ということだが、改善は難しいのではないか。

(事務局)

若い世代からの啓発を行い、歯周病の重症化予防につなげる。

(吉永委員)

校区自治協議会での説明をされてるが、その他周知はどのように行っていくのか。

(事務局)

校区自治協議会以外にも地域の子育てサークルや高齢者サロン等、専門学校等の若年層にも直接アプローチしていきたいと考えている。

(本田委員)

つながるプロジェクト事業の地域や企業の対象は。

(事務局)

地域はまず校区自治協議会、自治会長に向けて説明を行い、そこから地域団体へ声掛けいただきたいと考えている。企業は中小企業家同友会、青年会議所、募集に手を挙げた企業から始め、広げていく。

(川副会長)

マッチングは主体が同じぐらいの数でないとバランスがとれない。マッチングするため翻訳する力も必要になってくると思う。

- 報告事項(1) 西区フェスタ 2026 について
  - (2) 西区フォトコンテスト審査について
  - (3) おれんじトーク開催状況について
- <資料 3.4.5 について 事務局から説明>

(清川委員)

おれんじトークの対象はどのように選んでいるのか。

(事務局)

対象団体はこちらからお声掛けしている。

(川副会長)

フォトコンテストは盛況だったが、要因はなにかあるのか。

(事務局)

SNS を使った広報ではないかと考えている。

(吉永委員)

審査を行う際、紙とデータで見え方が違い難しいと思った。

● その他(2年間の振り返り)

(久保委員)

蓮台寺には公民館やコミュニティセンターがあり、e スポーツ、マージャン教室、体操教室など高齢者向け活動が盛んである。これほどの施設整備を行ってくれた市に感謝している。今後も高齢者の健康づくりに活かしていきたい。

(大嶋委員)

懇話会に参加し、多くの学びがあった。今後も西区発展のため貢献したい。

(上村委員)

西区役所職員の熱意を感じ、住民として安心して暮らせている。西区バス視察が特に印象深かった。

(本田委員)

西区役所職員の熱意に感銘を受けた。肥後狂句連盟副会長として、西区が肥後狂句大会を開催するなら全面協力する。

(田尻委員)

西区の魅力を知ることができた。フォトコンテストの盛況さも印象的であった。

(吉永委員)

行政の取り組みを知り大きな学びとなった。中学生の意見発表も印象的で、学校と地域をつなぐ役割を果たせたと感じている。

(清川委員)

西区の魅力を知り再認識した。西区フェスタの「西区歩らり」の目的拠点として参加するが、今後も地域と協働する視点を大切にしていきたい。

(川副会長)

行政と委員の意見交換がよくできており、運営がうまくいったと思う。西区をよくしたいという共通の思いが一体感を生んでいた。今後も懇話会が継続し発展することを願う。